



# 昭和十一年度豫算決定

二月二十九日、午前十時村役場に於て、村會を招集左記諸件を附議決定した。

一、昭和九年度内郷村歳入歳出決算認定の件。

一、村基本財産、預入先決定の件。

一、歳計現金預入先、議決の件。

一、一時借入金議決の件。

一、村税賦課率決定の件。

一、款内流用専決處分議決の件。

一、山林特賣議決の件。

一、昭和十一年度歳入、歳出豫算議決の件。

以上、昭和十一年度歳入歳出豫算は左の通りである。

歳入 拾參萬四千四百四拾六圓也

歳出 拾貳萬貳千四百七拾四圓也

經常部豫算額 壹萬壹千九百七拾貳圓也

臨時部豫算額 計拾參萬四千四百四拾六圓也

歳入歳出差引殘金なし。

## 教育費國庫交付

昭和十年度に於ける、本縣特別市町村義務教育費、國庫交付金は、三十萬三千四百

## 方面事業取扱數

方面委員の取扱ひたる、一月分の件數は左の通りである。

一、生活扶助、法令による者二一。然らざるもの九四。

二、保健治療、法令によらざるもの三二。

三、相談指導二四。

四、職業其他の紹介三二。

教化七。其他四。

## 警察官に同情

本村にも殉職

警察官に於ける事變に際し、殉職せられたる警察官に對し、去る三月三日夜、綴請願巡査部長派出所に、日本人として感激す。殉職警察官、五人の遺族へ香料として送つて下さい。紙片へ書き、五十錢銀貨二枚を包み、投げ込んだ人が有つた。

更に同月五日、内郷村町田岩崎氏より、金五十錢を、同じく部長派出所へ、その送達方を依頼して來たので、草刈部長は直ちに平警察署を経て、警視廳に送附したる由。

## 方面委員任命

志賀留吉氏辭任以來缺員となつて居つた同方面の縣方面委員の後任として、山崎金與氏、此程縣より辭令交付就任した。

早春 李笛吟社 高木撫山

早春の天入學にある花芽かな  
春曉や汽笛のはやき隣り磯山  
高坂坑交會  
日當りのよき教室や春淺し  
風邪登て本を讀み居る生徒かな  
二二六事件  
出藍の子さよ云へども春寒し  
同事終息の報を得て  
高空に一聲ありて獵停止

## 高坂校學藝會

三月一日、内郷尋常高等小學校では、年中行事の一つである學藝會を開催した。

午前九時開會、惠まれたる小春日和に、大講堂が溢れるばかりの盛會であつた。

御話より、唱歌に、兒童劇に、特年より一段の進歩を見、尋一、桃太郎さん、尋五、女舞踊劇、猿蟹合戦、尋一、史劇、小袖會我、尋一、上出来であつた。就中高一女の「小袖會我」は白眉であつた。午後二時半閉會した。

## 磐炭分會の擬動員

在郷軍人會磐城炭礦分會では、去る二月十一日、紀元節の佳節を卜し、左記順序に依り、摸擬動員を實施し、有事の場合、萬遺漏なきを期した。午前八時參集、正午散會。

整列。服裝検査。遙拜。勅語捧讀。閱兵。携帶品検査。講評。訓示。銃劍術。解散。應召範圍。令狀交付。人員二七〇名。成績。應召人員(幹部)二名。三九名。不參事三名。以上

## 磐青幹部會

三月十一日午後一時、青年會本部に於て、幹部會開催左記事項を、審議決定した。

一、會員表彰に關する件。

二、夜警巡査に關する件。

三、辯論大會開催に關する件。

其他。

## 磐炭世話役會議

去る三月八日、淺野翁頌徳記念館に於て、親和會世話役會を開催、左の事項を協議した。

## 滿洲討匪だより

岩永討伐隊野田中隊 與索縣平定山出動先ニテ

前略、一月號村報並に郷里のニエ、スお知らせ下され、誠に有難うございませう。(中略)

其後は元氣百倍、石城健兒の意氣を振つて居ります。現今は與索縣第四區平定山と云ふ、友邦部落に宿泊して、匪賊の情報を集めて居ります。

九月より戰國實に十三回、戰友二名戦死、三名負傷致しました。小兵は、今以て敵陣に見舞はれず、奮闘致して居ります。

昨年の冬期討伐には、草野村出身大平上等兵の戦死(現任長)等友の靈を慰むるために、御國の國の靈を慰むるために、一日も早く、匪賊の討伐を完ふしたいと考へて居ります。

一月四日より、奉天飛行隊と協同、飛行機〇〇機參加、恒仁縣方面大討伐に終りました。仲々面白くない戦隊でした。空よりは、探照機、機銃、自動火機、射撃、四百の距離は、一溜りもありませぬ。秋冬兩討伐も二月上旬には終り、秋冬兩隊中守備隊に五ヶ月ぶりにて、歸隊出来る事と思ひます。(後略) (黒頭巾牛投)

## 日本評論社

發行所 東京橋本三丁目

取次所 内郷村報社

これは余り早く離乳し、草類を與へた場合、又は甘藷其の他の腐敗物を與へ、或は給水多給に依る水分の多過ぎからである。故に飼料を適當に與へ、常に清潔にし、滋

## 職工徒弟募集に關する件

山神祭典執行に關する件

勞役規則改正事項示達

の件。

賃金支拂日確定に關する件。

種痘執行に關する件。其他數件。

因に山神祭は、四月二十二、二十三日、兩日と決定し、賃金支拂日は、毎月十五日決定したる由。

## 我國教育學界の權威

前京大總長小西重直博士

心を寄せて曰く、多年ノ御禮檢下實地ノ御試練ニ基テ良學國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ打マン申候云々。

## 國寶阿彌陀堂保存會

此程、沼田村長、赤土願成

小松定治郎 竹島 廉平

## 教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民惠著

服部宇之吉

(四六版二二頁 定價五十錢 郵稅六錢)

## 草野三千雄

永井茂次郎

鈴木 佐市 蘭部 未造

小野 昇 田中宇一郎

湊 慶三郎長谷川幾之助

## 國寶阿彌陀堂保存會

此程、沼田村長、赤土願成

小松定治郎 竹島 廉平

## 教育制度改革概論

矢野 恒太序 大内民惠著

服部宇之吉

(四六版二二頁 定價五十錢 郵稅六錢)

## 草野三千雄

永井茂次郎

鈴木 佐市 蘭部 未造

小野 昇 田中宇一郎

湊 慶三郎長谷川幾之助

## 國寶阿彌陀堂保存會

此程、沼田村長、赤土願成

小松定治郎 竹島 廉平

昭和十年度に於ける、本縣特別市町村義務教育費、國庫交付金は、三十萬三千四

教育制度改革概論

矢野 恒太 大内民惠 著 (四六版二一頁 定價五十錢 郵税六錢)

保健康療、法令によらざるもの三二。相談指導二四。職業其他の紹介三二。教化七。其他四。

去る三月八日、淺野翁頌徳記念館に於て、親和會世話役會を開催、左の事項を協議し

日本評論社 發行所 東京三丁目 内郷村報社 取次所

國寶阿彌陀堂保存會

此程、沼田村長、赤土願成寺住職を始め、村内有力家の盡力により、國寶特別保護建造物阿彌陀堂、同阿彌陀如來、同觀世音菩薩、同勢至菩薩、同增長天王及同持國天王の、一字五佛を保存し、之を廣く一般に紹介し、人心教化に裨益する目的を以て、國寶阿彌陀堂保存會が組織せられ、本會の趣旨に賛成し、若干の寄附をなしたる者を會員とし、又其會員中、壹百圓以上の醸出者は名譽會員、五十圓以上は特別會員、拾圓以上は贊助會員とする規定で、其役員は左の通りである。

- 小松定治郎 竹島 廉平 山崎 喜一 三澤 義則 石橋 弘毅 廣瀬 貞 佐川 芳松 上原 四郎 大越勝之助 金原喜一郎 狩猪喜平治 生田 常弘 山崎佐市郎 新谷 彦資

- 草野三千雄 永井茂次郎 鈴木 佐市 蘭部 未造 小野 昇 田中宇一郎 湊 慶三郎長谷川幾之助 田中 義枝 馬目子之松 志賀 留吉 久野藤二郎 高萩 佐重 金澤 慶一 遠藤 喜一 廣木春之允 草野 末吉 山下喜代治 大越惣一郎 生田傳四郎

本村の副業として 養兔は有望なり (上)

内郷村技手 赤津平男

最近農家の副業として、養兔は極めて有利で、陸軍省では率先して買上げ、尙海外に有望な需要がある。そこで農林省では、懸命になつて奨励に努め、一般農家でも其の有利なることを認めつゝあり、過般本村青年團では、産業部を設置し、今年度の必行事項の一として、各支部が責任飼育をなすことに、協議一決した。本年度は、一般各家庭に於ても、飼育せらるゝ様御勵めする次第である。

免は世界に於て、本邦産が最もよく、本邦中我が福島縣免は、毛皮質共に最良とされてゐる。本邦産白色免毛皮は、歐米に非常に歡迎され、年々一五〇萬枚一三〇〇萬枚を輸出してゐるが、海外の需要は非常なもので、米國は一ヶ年一億三千萬枚の需要があり、主に「ヘルギー」「フランス」歐洲等から輸入してゐる。

質向上に努め、取引上の信用を維持すれば有望である。然も本邦で飼育する「イタリヤニ種」「メリケン種」は體質強健で飼育容易、多額の資金を要しない。婦女子が余暇に管理することが出来るので副業としては、向である。飼育は學校の児童、婦人等に一任せらるゝを適當と考へる。

(一) 飼料 冬期以外は主として、山野の雜草又は野菜屑等で充分であり、時々大麥、其他他穀類の如き濃厚飼料を與へ、冬期は乾草樹葉、豆腐粕等を與へる。

(二) 給水 子を産んだ後には必要であるが、常時は、水分に富んだ草類を與へる外必要がない。

(三) 飼育箱 空箱を適當に改造利用し、開口二、五尺奥行二尺、高さ一、五六尺程度のもので、前面に金網を張り、床には竹を二割に切したもので、小便按にする、箱は幾分後方に傾

開拓記

北海道十勝國上川郡 清水町清水山莊

大内一郎

感じた次第でしたが、之でござやう安心したわけですが、一俵正味六十疋です。取り敢へず、産業組合の農業倉庫に預けました。普通検査手数料は、一俵二錢だそうですが、組合に預ける分は、無料なすうです。而して四等品の値段は、二等品の一割二分減で、等外は品質にも因るさうですが、うちの乾燥が悪いので、五等格なすうです。來年はせめて三等品位を出したいと思つて居ます。次に賣る時期並に値段は、木下さん(理事)に御一任いたしました。販賣した際には、通知が参るのださうです。賣り方には、無條件、時期實、指値賣、成行賣の四種あるさうです。うちのは無条件といふ處です。之で少し家の中の整理が出来ました。此外に賣るさうすれば蕎麥一俵大豆二俵ありますが、蕎麥は今の献立によるさ、大分食へますし、又大豆はあまり乾燥がよくありませんので、味噌をついたり、又食

- 顧問 (イロハ順) 加藤 丈夫 高階 一郎 大内 民惠 馬目 太平 佐藤 三平 島田 兼吉 四家 又一 菅原萬治郎 會長 沼田濱之助 副會長 金澤 爲喜 大越 治七 同 赤土 興榮 專務理事 齋藤 彌一 會計 小松樹太郎 理事 若松善藤太 名畑 留藏 大越 治助 評議員

以上は品値極めて優良で、價格も遙かに上位である。今後一層品

行き詰れる現代の教育制度を解體して、學理を實際と、歴史を實驗とから新に大内案九主義を提唱す。天下知名の士の賛同救済に違あらず。されど未だ一人の抗議者も現はれず。

我が教育學界の權威 前京大總長小西重直博士 寄せて曰く、多年ノ御體験ト實地ノ御試練ニ基ク眞摯愛國ノ大精神ヲ拜味仕リ不思感激ニ打テ申候云々。

これは余り早く離乳し、草類を與へた場合、又は甘藷其の他の腐敗物を與へ、或は給水多給に依る水分の多過ぎからである。故に飼料を適當に與へ、常に清潔にし、濕氣の排除に注意すればよい。

尚冬季に入りての分曉は、箱内を十分暖かくし、屋内に入れ置かば仔免の斃死が少い。春から夏の分曉は格別保温の必要はないが、分娩間近になれば、敷藁を取換へることが肝要である。若し是を怠らば、醗酵の爲仔免が斃死する。又分娩二日前から藁等を掛け、箱内を暗くすることが必要である。夏季は炭俵の目のあらいがよい。

用の道を通じたり、いたそうと思ひます。此等は何れも此邊に於ける安全作なすから、來年は少し多く作る計畫を立て、種物さそは多く残さうと存じます。來年こそは、大いに出荷する様になつて、更に二俵を組合に注文致しました餅は、愈々明日届くべく、炊事當番

の敏夫君が準備いたしました。餅米一斗(内豆餅少々)、稻黍餅三升、燕麥餅三升といふ處です。そんなものが出来たか、何れ出来上りましたら、其見本をお送りいたします。日曜につかき思ひましたら、二十九日にはつかき思ひましたか、當地で申す所なもので、明日にいたしたのであります。立派な年賀私製書、御送り下さいまして、有り難く拜受、本日三人分取りまして、六十一通を年賀郵便として差し出しました。肥料は來春一月頃、組合で共同購入する豫定で御座います。

それから先日出荷いたしました、大手亡三俵、四等品一俵七圓四錢等外品二俵六圓二十三錢宛、計十九圓五十錢に販賣、内保管料及歩合金十二錢を控除し、現金は其儘組合の當座預金に入れました。日歩一錢二厘、年利四分一です。郵便貯りよりはよい譯です。その基本として、雞卵、牛乳等の販賣、餘剰金等も、追々預け入れる様にいたしたいと存じます。

定を決定する見込みで御座います補助牛購入の件お許しいたさき、ありがたう御座います。隊公を、二十五日にカン、ではかつた處、トシ助三貫九百、トシ三貫四百ありました。雞も賣入にすつかりなれ、戸をあけて外へ出るも、皆集つて來ますほんたうに可愛らしいです。では御機嫌よく。

此手紙は、今年の最後か存じます。どうぞよいお年をお送り下さい。御吟詠は正に拜讀いたしました。十二月二十七日夜

母上様 二十二日二十三日附御便り、誠に有り難う御座いました。吉野さんの御便りも、有り難う存じました。氏は文通通り温厚な方であるそうです。其内是非一度御邪魔いたしたいと思つて居ります。エビ、ワカサギの食用法お教へ下さいました。ありがたう御座います。餅は小生監督で、信雄君がつくりました。それから春以來お母さんの御手を煩はした大手亡も、父上に申上げた通り、磁器よく販賣いたしましたから御喜び下さい。愈々一月中には、半年度の作付豫

方拜の式を舉行し、後小生丈け學校に出頭して式に参列、後部落の交禮會に出席、午後二時歸宅いたしました。大部分の部落の方々を合はせる事が出来まして、好都合でした。内池よし子さんから、羊羹一箱をいたさきました。

拜啓 昨日は豫定通り、市街地の年始廻りに出掛けました。先づ關門の成田太田の兩家に敬意を表し清水神社に参拜、村上さんから順次廻禮、禪寺を最後に十三戸、手拭一本宛を持参いたしました。丁度本郷局長さん所に参りましたら、お書になつてしまひましたので、郵便局特別大食堂に上り込み奥様お嬢様のお手になる仙臺式お難煮、お汁粉を鯛腹御馳走に相成りました。何分大食漢の市街進出になつたらしくかつたです。側で音機をかけて下さつたり、サーヴイスマンには全く恐縮、こゝに於て先づ局舎御新築のお祝をいささし申上げましたら、一音機にそう云つて頂きましたが、今度こそ云々なりました。矢張り山の中で、黍の交の御飯を食べて居つた時代も御座いました。さおつしやれましたが、げにさもありし事ならん。當年の御苦勞の結果が、今日あらためたのださ、衷心より感心する。更に色々御話あつた末、今では家の者も餘りいなくなりましたが、私小カマシヤさいひました。家の者が、それるや、やる事さへしつかりやつてくれさへすれば、なんにも言ふ事がない。其れこそ一番風樂

十二月二十七日夜 拜啓 本日農業世界、味淋干、豫言者本間俊平を拜受、ありがたう御座いました。昨日は豫定通り餅つきを終了いたしました。本日一品づつ、小包で御送りいたしました。から、御試食下さい。もち草は、お母さんが春頃摘まれたもので、本日市街に御届けました。組合より小麥一俵購入、製粉屋に廻し、密柑二箱を買ひ、理髪其他の雑用を済まして歸りました。之で迎春の準備が出来上りました。歸りに五十嵐さんから、豚肉四百近くいたゞいて來ました。元日は山の方、二日は市街の方の廻禮をいたしました。存じます。十二月二十九日明けましてお目出度う御座います。昨朝五時起床、二白餅をつき大にたべました。午前九時一家三人、例の如く國本神社前前に於て、四

だと思つて居ります。さいはれましたので、之は家のお母さん一家に脈相通する所あり、矢張り一家の雄辯家かなと密かに觀察いたして居つた處、お母さんが歸られて男三人では御寂しいことせう、一つ山莊へあがつて、騒ぎ廻つてあげませうか。さいはれる。ウラッ！之は大變。さ飛び上りました。が、そこは巧みに「ごうかそうお願ひします」とお答へする。さ丁度其時、他に來客があつたので、之れ幸ひさ、ほんたうの態で、御暇いたしたのでした。其他荒木さん方を始め、到る處御馳走に預りました。村長さんは、舊年中リウマチスで、病院に入院され、三十一日に歸られたので御座いました。本日は小生留守居番にて、二少年には小遣五十錢づつ、を持たして、市街に遊びました。昨夜來の雪が一尺許り積りましたので、二少年もスキーで行くさ力んで居ります。先日御送りいた「預言者本間俊平」全部讀ました。昭和十一年を迎へる心構への一つさとして、最適なものであつたと存じます。ほんたうに有り難う御座いました。信仰程尊く有り難いものはない事が如實に分ります。文理科大學に於ける講演の如きは、實際現代教育の通弊を委く指摘したものと、愚察いたします。矢張り本當に苦しんだ人でなければ、本當の教育は出來ないのだと存じます。お父さんの所謂大内宗九主義に於て、本間先生のおつしやられて居る事全部が、つかり合はれて居る事全部が、キリスト教も、之で本當に日本に於ける宗教として、價値づけられる事と存じます。(此稿未完)

十二月二十七日夜 拜啓 昨日は豫定通り、市街地の年始廻りに出掛けました。先づ關門の成田太田の兩家に敬意を表し清水神社に参拜、村上さんから順次廻禮、禪寺を最後に十三戸、手拭一本宛を持参いたしました。丁度本郷局長さん所に参りましたら、お書になつてしまひましたので、郵便局特別大食堂に上り込み奥様お嬢様のお手になる仙臺式お難煮、お汁粉を鯛腹御馳走に相成りました。何分大食漢の市街進出になつたらしくかつたです。側で音機をかけて下さつたり、サーヴイスマンには全く恐縮、こゝに於て先づ局舎御新築のお祝をいささし申上げましたら、一音機にそう云つて頂きましたが、今度こそ云々なりました。矢張り山の中で、黍の交の御飯を食べて居つた時代も御座いました。さおつしやれましたが、げにさもありし事ならん。當年の御苦勞の結果が、今日あらためたのださ、衷心より感心する。更に色々御話あつた末、今では家の者も餘りいなくなりましたが、私小カマシヤさいひました。家の者が、それるや、やる事さへしつかりやつてくれさへすれば、なんにも言ふ事がない。其れこそ一番風樂

十二月二十七日夜 拜啓 昨日は豫定通り、市街地の年始廻りに出掛けました。先づ關門の成田太田の兩家に敬意を表し清水神社に参拜、村上さんから順次廻禮、禪寺を最後に十三戸、手拭一本宛を持参いたしました。丁度本郷局長さん所に参りましたら、お書になつてしまひましたので、郵便局特別大食堂に上り込み奥様お嬢様のお手になる仙臺式お難煮、お汁粉を鯛腹御馳走に相成りました。何分大食漢の市街進出になつたらしくかつたです。側で音機をかけて下さつたり、サーヴイスマンには全く恐縮、こゝに於て先づ局舎御新築のお祝をいささし申上げましたら、一音機にそう云つて頂きましたが、今度こそ云々なりました。矢張り山の中で、黍の交の御飯を食べて居つた時代も御座いました。さおつしやれましたが、げにさもありし事ならん。當年の御苦勞の結果が、今日あらためたのださ、衷心より感心する。更に色々御話あつた末、今では家の者も餘りいなくなりましたが、私小カマシヤさいひました。家の者が、それるや、やる事さへしつかりやつてくれさへすれば、なんにも言ふ事がない。其れこそ一番風樂

本紙發行は六内一報の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を承継するものなり。

本紙發行は六内一報の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を承継するものなり。

本紙發行は六内一報の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を承継するものなり。

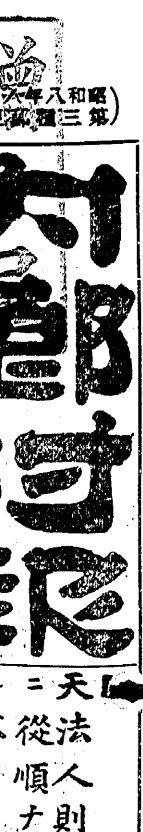
内郷村報の 六大使命

- 一、政黨政派を超越して、村方充實主義を標榜す。
二、村内公私各機關の活動状況を報導し併せて其協力を計り、總親和總努力の實現を期す。
三、本村社會事業の徹底を期す。

- 四、村内の慈善興行を奨励し、且之を奨勵す。
五、本村を本村出身者及本村關係者との聯絡を計り、且其發展向上を期す。
六、奮闘力を以て、國民善導に當る。

本紙發行は六内一報の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を承継するものなり。

本紙發行は六内一報の事業に於て、其の社務は子孫に對する遺言を承継するものなり。



天 從 人 則 順

學校を卒業させていた、云ふ事は、眞に御同慶の至りで御座います。申す迄もなく教育は、學校教育と家庭教育と、目途がな









てへ終を儀葬 郎一市長田塚 雄信

ふ有様、又私共二人が靈柩車に乗るに運轉手が「貴方がたは塚田さんの御親戚か」といひましたので、「いや赤の他人、しかも近々二週間そこへのおつき合ひです」といふこと「へーエ、うちの親方は、多分御親類なのだらうと話して居りました」と申すのです。これで以て如何に眞實なことを、御世話下さつたか、御想像つくこと、存じます。火葬場では、特等にして回向して頂き火を入れて歸へつて来ました。すると女關には既に女中さんが水を用意し、手を淨めさせ、涙の花なふりかけてくれました。それで二人協議の上、奥様がそれに及ばぬと辞退せらるゝのを押切つて、當方四人、醫院方十

人、併せて十四人分の天井を注文して、二階で精進上げをいたしました。其時に先生の小さなお子さんも焼香して頂きました。之で佛もいかに程か満足した事と存じます。其の夜の味は、奥さん方にまつて頂きお茶菓子等を女の方達にさし上げて、勞をねぎらひ、翌朝(七日)六時半、タクシーで骨拾ひに出發いたしました。すると何時になく看護婦さんも早起きして同道してくれました。頼まれても恐らくは御断りしたい様な骨上げに迄、加はつて下さるさういふ、靈柩の御誠意には、全く感謝せざるを得ませんでした。七時に歸院、朝食は丁寧な御馳走に預り、

又兩人相談の上、小生名義で、先生及び看護婦、女中、子守さん達に、敬意を表すべく、夫々金一封づつ、な、奥様を経て贈呈した所、醫師として當然の事をやつたに過ぎないのだから、堅く辞退された。出後、強いて納めて頂きました。同撮影し、子守さんに送られて、九時三十分帯廣出發、十時半頃清水に着きました。瀬戸、生澤兩氏、五十嵐さんと共に、花咲號の橋を付けて迎へてくれ、香奠返し品の物や、魚、野菜等を購ひ、さしかく十二時半久し振りで山荘に立ち戻つたわけでした。霊食は瀬戸さんと信雄君の料理です。又圓場を一通り見て頂き、夕食には酒をつけ、七時半頃お二人が歸られ、後で三人でいろ／＼の物語りをいたしました。

八日午前七時、初春號で出發、荒木、五十嵐、瀬戸、生澤の諸家を歴訪、お返しを差上げ、御挨拶をいたし、八時四十分出發、鈴木親子の悲しい鹿島立ちでした。歸りに役場へ寄り、戸籍係川瀬さんを煩はして、死亡届其他の手續を、松本先生の支拂をすませ、挨拶をいたして歸りました。挨拶をいたして、橋本御兄弟が焼香に來てくれました。以上一切の總経費は、百五十四圓三十銭でした。一月八日山荘にて(註)之は勿論大内家に於て支辨する豫定であつたのであるが、長市さんがたつて内百圓を納めてくれと云はれるので、其の厚意を多し、折半して、兩家負担と決定した。尙一昨より、兩家負担、感想録と詳細なる會計報告があつたが之は割愛した。

拜啓御手紙有難く拜見いたしました。其の後小生は無事元氣で留守番をして居りました。御安心なされ、親友敏夫君には遂に亡くなりました。今後は敏夫君の分迄も業務に精を出し、好く勤め様と決心して居ります。 二月十日 信雄

### 敏夫の死と葬儀 (日記抄)

敏夫父 鈴木長市

一月三十一日 「トシキキトクス」の電報に、風邪の氣味で休んでゐたが、倉皇として夜道を二本松驛へ急ぐ。二月一日 午前二時三十分、午後三時頃野邊地を通過後間もなく、吹雪の爲に停止、七時頃やうやく運轉、青森着八時十五分、運轉、寧ろ五時間余、勿論連絡船にも間に合はず、次の零時半發の船も不通。二月二日 午前四時四十分やうやく乗船、午後三時頃館前着、早速一

### 弔辭 (父卯平治代)

敏夫君よ。あ、敏夫君よ。あんなに元氣だつた君も、病氣には勝てなかつた。あの苦しみの様子は、今でも耳目に残つて居ます。敏夫君よ。今は唯君の安らかな眠りを祈つて居ます。昨年の四月渡道踏み出したばかりで永遠に別れなければならないのは、耐へられな悲しき事です。敏夫君よ、あの時の開拓の愉快な、苦勞を想ひ起して下さい。あの時は先生を中心として、一家四人の心は一となり血汗を流して奮闘した。あの開拓した土の中に、君の血汗と共に魂も發つてゐる筈です。小生は今後共に君の魂と一緒に、北海道開拓の事業に増奮し、君の分迄も勉勵し、君の肉体は永遠に歸へらざるも、君の意志は決して無にさせるものではないと、南無阿彌陀佛 昭和十一年二月十五日 鈴木信雄

### 鈴木信雄

二月三日 午後六時三十分、帶廣驛着、ホームに降り立つと同時に「待つてゐました」と一即さんの聲にほつとすると「敏夫君未だ大丈夫です」と聞えた時の嬉しさ！程近い塚田醫院のドアを押して室内に飛び込んだ。だが敏夫は意識全く不明だつた。大内さんより今迄の経過を御聞きして、總べてが神の恩恵だと感謝した。化膿性腦膜炎！それは絶望の烙印に等しかつた。二月四日 相變らすの苦しみ、午前十一時頃、「先生、お父さん、

先生始め皆、お前を大死させはしない。喜んで成佛してくれ。遠い異郷での出来事だけに、私は後事に就いても唯お前一人にしてはかりだ。が、一即さんの御骨折で願調に運ぶ。感泣するのみ。醫師は「私も異郷の者です。人事は思ひません。出来るだけはお力になります」と申してくれ。世間には鬼ごころか神ばかりだと思ふ。火葬の用意をするの「一苦勞。佛の行衣は塚田の奥様が、女中さんより荒木さん、信雄君が、清水より荒木さん、信雄君が、清水より午後三時頃、四時半頃、別院より僧侶が護送す。五時出棺、靈柩車には私共一即さん、別院には塚田、荒木兩氏、信雄君看護婦さん等が乗る。葬儀屋さん曰く「塚田さんと御親戚なのですか」と此様に塚田さん御一家の肉身も及ばぬ御親切忘るべからず。火葬場にて敏夫と最後の別れを告げる。二月七日 朝早く敏夫の骨上げに行く。一即さん看護婦さん等御同行つて下さる。歸宅後朝食を御馳走になり、塚田家を辭す。感謝と報恩の念を抱きながら……。一即さんの山荘に急ぐ。清水驛から、瀬戸生澤兩氏の御親切で、馬橋で山荘に着いた。靈食は一即さんの御案内で事業の状況を見聞した。生れつき百姓の身でも感心する。良かれとやつたものだと感心する。それから手製の馬小屋豚舎等見せて頂いた。夕食後敏夫の遺骨を、人かたの行路を、農家の經營法と生々希望、意見等實に感服した。二月八日 朝早くから、一即さん信雄君が食事の用意や、家畜の手入れに急がし相だつた。朝食後間もなく別れを告げ、特設に御送り頂いて、途中御世話になつた。荒木、五十嵐、瀬戸、生澤の諸氏宅に立ち寄り厚く御禮を述べた。皆様に「はなはだ、ホムム」御見送り下さつた。私は感謝の念を抱きつ、車中の人になつた。

二月十日 相變らすの苦しみ、お母さんと呼び、二音目には痛いの連続だ。二月五日 今朝は非常に好い。信雄君の興へた饅頭を喜んで食ひ牛乳迄要求した。だが之も糖喜ひだつた。夜に入つて譚言に、郷里のお寺の事や、他界した祖父の話など口にする敏夫だつた。二月六日 これが死か？之が、生命の終りなのか。午前一時頃、叫べど既に敏夫の魂は永遠に歸つては來なかつた。お前が此の土地で死ぬのはよいが、目的を果さず死なねばならなかつたのは残念だらう。然し之も天の法だよ。

塚田醫院、院長、勝氏、長野縣出身 松本盛氏、長野縣出身